

指 定 管 理 者 実 績 評 価 表（令和6年度実績）

高齢者支援課

施設名	地域福祉センターいずみの家・老人福祉センターさくらの家
指定管理者	社会福祉法人 習志野市社会福祉協議会
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日

評価（特記事項）	総合評価
・日々利用者との積極的なコミュニケーションを図りつつ、定期的な相談の機会を設けることで利用者が相談しやすい環境づくりに努め、安心して利用できる施設運営を行っている。 ・施設利用者の回復や潜在的な施設利用ニーズを掘り起こすため、パンフレットを更新し、町会へ回覧や市民カレッジ等で配布を行うほか、1階中央ロビーに来館者の目にとまりやすいようなイベント情報専用掲示板を新設するなど積極的なPR活動を行い利用拡大に努めている。 ・例年実施している講座に加え、運動強度の異なる講座や暮らしに役立つ講座を実施することで健康寿命の促進や、新規講座として利用者から希望があった日頃抱えている悩みや疑問を学ぶ講座を開催するなど、利用者の多様なニーズに対応することで施設全体の利用者数が回復傾向にある。 ・サークルの協力を得て親・子・孫の三世交代交流や若年層の利用を促すために年齢を限定しない行事を開催するほか、空きスペースを利用した展示会や秋津高齢者支援相談センターと協働してワークショップや啓発活動行う等様々な事業を展開し、地域交流に努めている。	A

区分	項 目	評 価 観 点	評価	個別の評価
Ⅰ 市民の 平等な 利用の 確保	1 施設の設置目的・ 「公の施設」としての基 本方針の確立及び施設目 的の達成度	1 施設の設置目的に基づいた管理運営上の基本方針が確立しており、職員が理解しているか。	A	要求水準
		2 意欲的な管理運営がなされ、それを通じて施設目的を達成できているか。	A	
	2 市民への事業広報活 動等、市民の平等な利用 の確保についての工夫	1 市民の平等な利用が確保されたか。どのように工夫しているか。	A	
		2 全ての利用者が等しく利用情報を得ることができるよう、適切な情報提供を行っているか。	A	
Ⅱ 管理を安定して行 う物的能力、 財政的能力及び人 的能力の保有	1 施設管理、安全対策 の内容の妥当性	1 建物・設備が適切に管理され、安全性の確保及び良好な機能の保持が実現されているか。	A	
		2 備品が適切に管理されているか。	A	
		3 清掃業務において、利用者が快適に利用できるような状態が保持されているか。	A	
		4 警備業務において、安全で安心感のある環境を確保しているか。	A	
		5 外構施設の保守点検において、安全性が確保され、良好な機能が保持されているか。	A	
		6 植栽・樹木等の維持管理において、利用者が快適に過ごせるような景観が保たれているか。	A	
		7 3R（リデュース・リユース・リサイクル）を実践し、ごみの減量に取り組んでいるか。	A	
		8 地球温暖化防止に係る取り組み（冷暖房温度設定・節水・節電他）を実践しているか。	A	
	2 経済的（経営・収 支・資産等）に安定した 運営	1 経営的（収支・資産等）に安定しているか。	A	
		2 仕様書に定められた、若しくは事業計画書のとおり開館しているか。	A	
	3 適正な職員の配置	1 管理職を含む常勤職員及び非常勤職員の勤務実績、配置状況は適切か。（仕様書の人員配置は満たされたか）	A	
	4 個人情報の保護	1 個人情報の保護に対する体制が整っているか。	A	
	5 緊急事態への対応策	1 事故防止のための体制の構築・取り組みを行っているか。	A	
		2 事故発生時の対応体制が確立されているか。	A	
		3 災害発生時の対応体制が確立しているか。	A	

区分	項 目	評 価 観 点	評価	個別の評価
Ⅲ 当該施設 能力及び 経費の縮 減に発揮 させる	1 サービスの向上及び 利用者の増加等、施設の 効用を最大限に発揮させ る取り組み内容	1 利用しやすい受付案内を実施しているか。	A	要求水準
		2 当該施設について、広報誌やPR誌を作成するなど、具体的な 取り組みを実施し、潜在的な利用者にアピールしているか。	A+	要求水準を上回る
		3 利用者の満足度を高める適切な接遇がなされているか。	A	要求水準
		4 個々のサービスについて、対応職員によって格差が生じない よう、施設のサービス水準を確保するための取り組みを行っている か。（研修計画は適切であったか。）	A	
		5 職員間で、適切に各種情報の共有化が実現されているか。	A	
		6 利用者が意見や苦情を述べやすい環境を整備しているか。	A	
		7 利用者の意見や苦情等を受けて、迅速に対応できる体制を構 築しているか。	A	
		8 サービス全体に対する利用者の満足度を把握し、課題がある 場合には対応策を講じているか。	A	
		9 利用者の望む自主事業を適切に実施しているか。独自の工夫 等はあるか。	A+	要求水準を上回る
		10 地域との交流・連携に関する取り組みを実施し、地域交流 の支援を実施しているか。	A	要求水準
	2 管理運営経費の縮減	1 指定管理料は適正に執行されているか。	A	
		2 事業計画書等で示した利用料金収入の目標値がどの程度達成 されているか。 （当初収支計画と実態の相違） または、収入－支出がプラスになっているか。	A	
		3 効率的な管理を目指し、経費節減の努力を行っているか。	A	
Ⅳ 利用施設 状況の	1 施設の利用実績	1 施設利用者延べ人数	A	要求水準
		2 施設利用者一日平均人数	A	
Ⅴ 個別事 項	1 提案事項	1 入浴について	A	要求水準
		2 各種相談体制について	A	
		3 教養の向上やレクリエーション等の事業について	A	
		4 日常の健康管理や医療機関との連携について	A	要求水準
		5 衛生管理について	A	
		6 地域振興について	A+	要求水準を上回る
		7 ボランティアの活用について	A	要求水準
		8 国・県等の監査結果について	A	
		9 サービスの向上及び利用者の増加等、施設の効果を最大限に 発揮させる取り組み内容となっているか	A	

区分	項 目	評 価 観 点	評価	個別の評価
Ⅵ その他	1 市民（利用者）から寄せられた具体的意見	1 寄せられた苦情の具体的事例及び対応	A	要求水準
		2 特に多く寄せられた賞賛意見	A	
	2 意見の反映	3 利用者の意見を聴き、どのように反映させているか	A	
	3 施設管理者の意見	1 制度を導入して良かった点	A	
		2 制度を導入して悪かった点		
		3 特に実施した指定管理者への指導		
		4 現在抱える課題とその解決策（施設管理者所見）		

評価段階：A+～C

要求水準とは、協定書・仕様書及び事業計画書において求める運営管理の水準

A+（要求水準を上回る）の数	3
A（要求水準と同等）の数	44
B（要求水準だが一部課題がある）の数	0
C（要求水準に至らない）の数	0